

# 平成30年度 V B L 研究プロジェクト選考審査要領

ベンチャービジネスラボラトリー（VBL）の主な活動である「ベンチャービジネスの萌芽となるべき独創的な研究開発の推進」を担うV B L 研究プロジェクトを採択するため、V B L 研究プロジェクト選考委員会を組織し、以下の要領で審査を行い選定する。

## 1. 選考委員会の構成

選考委員会に、書類審査委員会とヒアリング審査委員会を設置する。

書類審査委員会とヒアリング審査委員会の委員長は、V B L 施設長をもって充てる。

書類審査委員会は、V B L 運営会議委員（1号委員～4号委員）計7名で組織する。

ヒアリング審査委員会は、下記の構成表に従って、学内委員4名、学外委員5名、計9名で組織する。

ヒアリング審査委員会の構成

1	V B L 施設長	学 内 委 員
2	V B L 副施設長またはV B L フェロー	
3	産業連携研究推進ステーションから選任	
4	産業連携研究推進ステーションから選任	
5	特許に関する専門家	学 外 委 員
6	起業家・経営者	
7	企業の研究者・専門家	
8	研究機関の研究者・専門家	
9	財務の専門家	

## 2. 選考方法

第1段階審査として書類審査、第2段階審査としてヒアリング審査を実施する。

### (1) 書類審査

書類審査委員は申請課題について申請書により審査を行い、審査結果を書面で委員長に提出する。

委員長は、各委員による審査結果に基づき、採択予定件数の1.5～2倍を目安に、ヒアリング審査に進む課題を選定する。

### (2) ヒアリング審査

ヒアリング審査委員は、指定日時に集まり、ヒアリング課題すべての審査を行い、当日中に審査結果を集計し、書類審査とヒアリング審査の合計点を基に、ヒアリング審査委員の合議により、V B L 研究プロジェクトに採択する課題を選定する。

ヒアリング審査時間は、以下のとおりとする。

発表時間 12分  
質疑応答 8分  
採点時間 2分 計22分

### 3. 審査基準

#### (1) 審査項目

書類審査、ヒアリング審査ともに、項目は以下の(A)~(D)とする。

- (A) 学術的重要性と新規性・独創性
- (B) 研究計画・方法の妥当性
- (C) 研究遂行能力とV B L助成金の効果
- (D) ベンチャー性および製品化・実用化の可能性

#### 【補足事項】

- 1) 書類審査、ヒアリング審査ともに、継続申請の場合は、すべての項目において、進展が大いに期待されるかを考慮に入れて採点する。
- 2) 書類審査、ヒアリング審査ともに、(C)の項目においては、これまでのV B L助成金額を考慮に入れて、申請プロジェクトにおけるV B L助成金の効果を判断する。

#### (2) 評価方法

書類審査、ヒアリング審査ともに、以下の基準で、それぞれの審査項目(A)~(C)について5点満点で、審査項目(D)について10点満点で採点し、これらの総合点で採否を決定する。

(5点満点) (10点満点)

評点	評点	審査基準
5	9~10	とても優れている
4	7~8	優れている
3	5~6	普通
2	3~4	劣っている
1	1~2	とても劣っている